

授業科目名	認知症看護学		担当教員	◎青山 美紀子、川上 裕子 山田 案美加	科目ナンバリング NE411
選択	開講年次：4年前期	単位：1単位	授業形態：講義15時間		

【授業概要】

認知症の特性を理解し、認知症の人の健康と尊厳ある生活を支援するための理論や援助方法を理解する。認知症看護のさまざまな取り組み等を概観し、認知症の人と家族の看護ニーズの理解を深め、QOLの向上にむけた看護介入を学ぶ。

【授業目的・目標】

1. 認知症をめぐる知識(診断・治療・予防的介入・症状への対応・生活行動援助)について理解する。
2. 認知症の人とのコミュニケーション方法の原則を修得する。
3. 認知症看護を実践するためのアセスメントができる。
4. 認知症グループホームのケアの意義を述べることができる。

【履修条件】

高齢者看護学臨地実習Ⅰ及び高齢者看護学臨地実習Ⅱ(リハビリ期)を修得していること。

【授業計画】

- | | |
|--|------------|
| [01] 認知症対策の現状と認知症治療 | (青山) |
| [02] 認知症のパーソン・センタードケアと看護 センター方式の活用とは | (青山) |
| [03] 認知症高齢者と家族へのアセスメント グループワーク1
課題提示「事例検討：さまざまな認知症ケア」 | (青山・山田) |
| [04] グループワーク2(サービ斯拉ーニング)
課題提示「様々な認知症ケア」 | (青山) |
| [05] ユマニチュード技法と看護を考える | (川上) |
| [06] 地域における認知症ケア(認知症カフェの実際) | (青山・川上・山田) |
| [07] グループワーク2(サービ斯拉ーニング)
課題提示「認知症カフェを考える」 | (青山・山田) |
| [08] 環境における認知症ケア
小規模多機能施設及び認知症グループホーム：ケアの現状・課題の提示 | (青山) |

【教科書】

指定なし

【参考書】

1. トム・キッドウッド(2017). 認知症のパーソンセンタードケア～新しいケアの文化～
2. 堀内園子(2008). 認知症看護入門 ライフサポート社
3. 本田美和子(2014). ユマニチュード入門、医学書院
4. 河野和彦(2018). ぜんぶわかる認知症の事典
5. 中島紀恵子編集(2017). 認知症の人びとの看護 医歯薬出版株式会社

【評価方法・評価基準】

課題グループワーク30%、個人レポート40%、小テスト30%

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：授業中に提示された事前課題の記述を行うこと。

事後学習：各講義の事後学習として講義資料に基づいた学習内容を小テストとして実施する。指定された課題事例に必要な記述して提出する。

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅴ. 多職種から成り立つ医療チームにおけるコミュニケーションとコラボレーション能力、Ⅷ. 生涯にわたり継続して専門性を向上させる能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

課題レポート及び小テストは評価した後、「認知症看護学臨地実習」開始時に返却する。

【備考】

- ・サービ斯拉ーニングを活用して学びを深める。
- ・認知症看護学臨地実習の基礎となる。